

奨励賞



設計者

中村拓志

■ 東京建築士会、(株) NAP 建築設計事務所

事務所・店舗

徳島県勝浦郡上勝町

Kamikatz Public House

構造・階数

木造
地上1階

敷地面積

760.00㎡

建築面積

141.03㎡

延床面積

117.82㎡

竣工

平成27年5月3日



A

選評

上勝町は徳島県中部の山岳地帯に位置し、四国の町の中では最も人口が少ない町である。この町はゼロ・ウェイスト宣言をし、「ゴミゼロ運動」と「いろどり」の活動が過疎の町を生き返らせている。

建物は、リユース・リデュース・リサイクルを徹底したサステイナブルな建築である。オーナーは、町の理念に賛同した県外の民間企業が日用雑貨や食品の量り売りの店とビールの醸造所、人が集まって飲める場としてのパブを持つ建築をつくった。

平面は4.7m×2.6mの長方形で構成され、中央に通り抜きの通路を持ち、ビール醸造所と量り売りショップ・パブを2分割し、道路側に平行に配置されている。町から上ってくると妻側の8mの高さを持つファサードが見える。この壁面は、町で廃材となった

建具を利用してパッチワーク調に構成し再利用している。このことは、建築が時間の蓄積の中で生きている証である。

構造は、妻側の水平耐力と透過性を両立しながら、風圧力による面外変形と鉛直力による座屈を抑えるために、柱・梁は120mm角を合わせて構造用ビスで一体化して組み合わせている。パッチワークで組み立てられた建具の両側に5mm厚のポリカーボネートシートを面材として軸組に留め付け、壁面を補強している。この存在感のある壁面は真壁として表現している点が魅力的である。

一つの小さなプロジェクトが、町全体を活気づける力を持っていることを知らされた作品である。
(竹原義二)



B



C



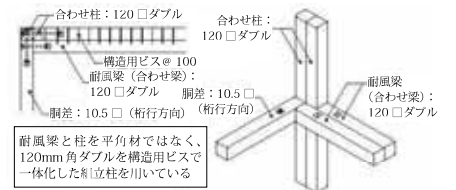
D



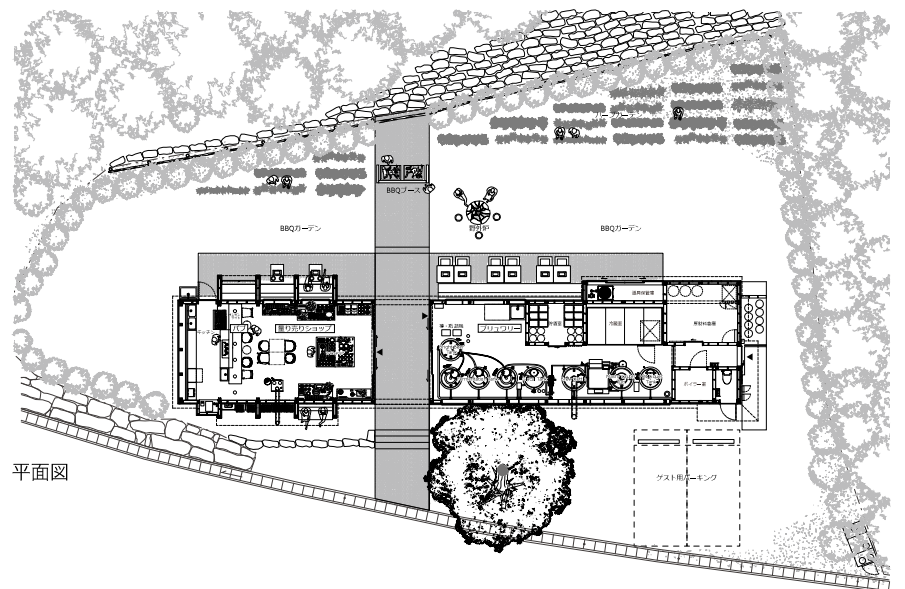
E



F



軸組図および組立柱詳細図(右上)



- A 外観。県道沿いの小高い山の中腹に建つ
 - B 量り売りショップとバブ
 - C 高さ8mの窓を用いたパッチワークファサード。廃屋の建具を再利用し構成
 - D 家具や農具などのリサイクル品で構成された量り売りショップ
 - E タイル工場の廃棄処分品を使ったエントランス
 - F プリュウワリーを量り売りショップ側から見る
- 写真…Koji Fujii/Nacasa and Partners Inc.